

まちの予算を見る

平成31年度の一般会計予算が決まりましたので、概要と主な事業を紹介いたします。

予算編成の内容

第2次安来市総合計画の将来像「人が集い 未来を拓く ものづくりと文化のまち」の実現

に向けた施策を引き続き行います。また、安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略による人口減少対策と、市の創生を目的とした施策を重点的・着実に進めていきます。

一方で財政状況は厳しく、一般財源も減少しています。この

ような状況の中、予算編成をすすめる上では、緊急性や重要性など、事業を一つ一つ検証しました。その上で、事業の成果や優先順位を検討していき、新規事業、従来事業の区別なく予算編成を行いました。

安定した財政運営に向けて

地方財政は、平成の大合併から14年が経過し、地方交付税の段階的縮減などが始まっています。厳しい状況は安来市も例外ではありません。

自主財源を確保するため市への収入が見込まれる農業・観光振興や企業誘致、定住対策には引き続き力を入れていきます。今年度も市民の皆さんが安心して暮らせることを第一に安定した財政運営を進めていきます。

将来を見据えた行財政

第3次行政改革大綱、同実施計画で位置づけた取り組みを確実に進めていきます。これを進めることで歳出の適正化、将来負担の軽減を図っていきます。

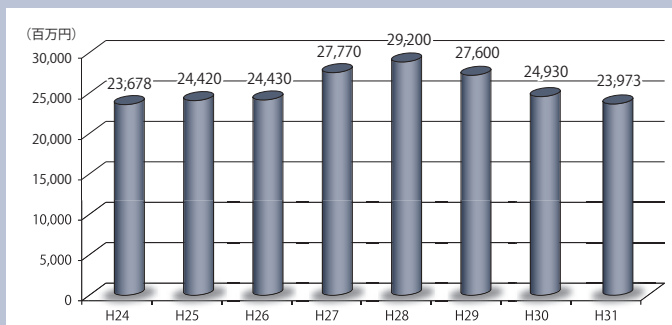
特に市の保有する公共施設は、維持管理の方法で今後の負担が大きく変わってきます。そのため最適な維持管理、運営を行えるよう公共施設等総合管理計画を着実に進めていきます。

平成31年度予算総括表

(単位：千円・%)

会計名	予算額	前年増減率
一般会計	23,973,000	△ 3.8
特別会計	13,832,550	△ 0.1
国民健康保険事業	4,571,000	△ 1.9
後期高齢者医療事業	1,033,000	△ 2.5
介護保険事業	5,115,000	1.9
電気事業	76,700	82.6
下水道事業	3,036,000	△ 1.0
母里財産区	600	0.0
井尻財産区	150	0.0
赤屋財産区	100	△ 33.3
合計	37,805,550	△ 2.5

大型建設事業開始前とおおむね同様の予算規模



◀ 大型建設事業が終了し、今年度は前年度と比較して予算総額が減となっています。

予算規模は縮小しているものの、引き続き各事業の重要性などを検討していき必要な施策を進めていきます。



歳入・歳出から見た予算

一般会計の当初予算総額は、対前年度 9 億 5700 万円減の 239 億 7300 万円となりました。

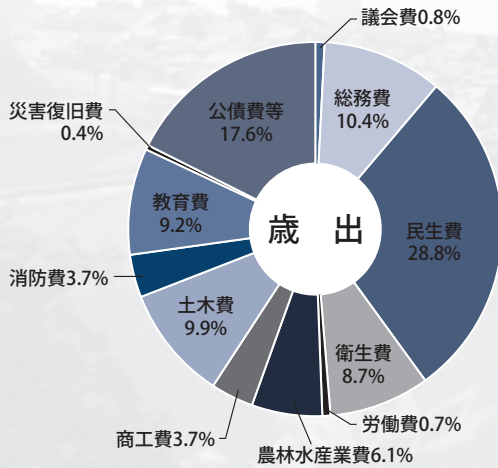
これは、小中学校の空調整備事業を前年度に前倒しで行ったことや庁舎建設、防災公園整備等が完了したことなどにより投資的経費（下表の総務費、教育費等）が減となったことが主な理由です。

一方で、歳入は市税では固定資産税や法人市民税

の伸びにより 1.4% 増の 52 億 5000 万円余を見込んでいます。また、地方譲与税は、森林環境譲与税が新設されたことにより、増を見込んでいます。市債は、大型建設事業の完了により 33% 減の 19 億 3000 万円余となっています。

今年度も引き続き、歳入に見合った歳出を基本とした財政運営を継続していきます。

歳出予算内訳（目的別）



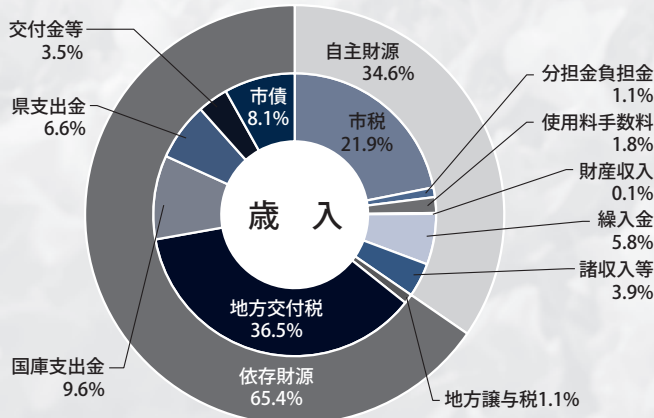
【用語】 民生費…高齢者・障がい者福祉対策、児童対策など
衛生費…予防接種、各種検診、ごみ処理など
公債費…借入金の元金・利子の返済など

（単位：千円）

区分	31 年度	前年増減
議会費	198,748	△ 7,302
総務費	2,488,829	△ 471,507
民生費	6,897,251	△ 324,100
衛生費	2,074,570	△ 79,115
労働費	162,281	△ 1,016
農林水産業費	1,472,961	67,315
商工費	877,895	△ 66,575
土木費	2,384,686	149,737
消防費	895,658	81,298
教育費	2,209,854	△ 363,167
災害復旧費	86,000	0
公債費等	4,224,267	57,432
合計	23,973,000	△ 957,000

歳入予算内訳

（単位：千円）



【用語】 依存財源…国・県から定められた額を交付されたり割り当てられたりする財源

区分	31 年度	前年増減	
自主財源	市税	5,251,174	71,746
	分担金負担金	256,642	3,425
	使用料手数料	435,129	△ 2,951
	財産収入	18,687	576
	繰入金	1,399,802	△ 57,400
	諸収入等	932,816	133,990
依存財源	地方譲与税	257,001	12,000
	地方交付税	8,760,000	100,000
	国庫支出金	2,302,545	△ 282,648
	県支出金	1,585,511	5,018
	交付金等	843,593	8,744
市債	1,930,100	△ 949,500	
合計	23,973,000	△ 957,000	

平成31年度に 取り組む主な事業

保健・医療・福祉
51億8000万円

●乳幼児健診事業 1300万円

健康的な生活習慣づくり、子育て家庭の育児不安の解消および虐待予防を図るため乳幼児健診を行います。

また、新たに3歳児健康診査では、全受診児を対象に視能訓練士による検査機器での視力検査を実施します。

●医師・看護師等確保対策事業 400万円

これまで行ってきた医学生・看護学生に対する奨学金の貸与に加え、新たに薬学生を奨学金貸与事業の対象とします。医師・看護師・薬剤師の確保により医療の充実を図ります。

子育て・教育・文化
47億7000万円

●子ども医療費 1億5100万円

子どもが安心して医療にかか



▲子どもたちが健やかに成長できるよう子育て支援に力を入れます。

ることができると環境づくりのため、医療費助成事業を実施し、保護者の経済的負担の軽減を図ります。

●安来市親子交流センター事業 2500万円

乳幼児や児童、保護者等が気軽に集い、遊んだり交流したりすることができるとして、親子交流センターの施設や遊具、広場などを提供します。

また、老朽化により、現在の親子交流センター（旧十神幼稚園）を旧城谷保育所に一時移転します。

●ICT環境整備事業 4500万円

小中学校の学習内容と方法の両方を重視し、子どもの学びの過程を質的に高めていくため、教育のICT環境の整備を年次

的に行っていきます。

●指定文化財保存修理事業 1600万円

市内の島根県指定有形文化財および安来市指定有形文化財は、経年により傷みの大きくなったものがあります。これらの修理を行い、保存を図るとともに活用につなげていきます。

防災・防犯

9億3000万円

●防災対策事業 1100万円

防災訓練の実施、資機材の整備、自主防災組織への支援等を行い、防災力向上を図ります。また、新たに防災士の資格取



▲市役所安来庁舎南側の防災研修棟。

▼

古刹清水寺は市内外からの観光客に人気です。



得にかかる助成を行い、資格取得の支援をします。

●機械器具購入事業 1億円

13mブーム付多目的消防ポンプ自動車を整備します。これにより消防救助活動の幅を大きく広げ火災等の災害に備えます。

産業・観光・雇用
23億8000万円

●観光施設整備事業 1500万円

安来市を代表する観光地であ





▲間伐が進められた山林。

る清水寺の参道入口の歩道および多目的スペースの整備を行います。

●就農・定住パッケージ事業
5600万円

受け入れ集落、師匠、農地（施設）に加え、「住居」をパッケージ化して、Uターンによる就農者を誘致します。この仕組みにより、集落ビジョンの達成と定住を促進し、園芸産地の活性化を図ります。

●森林環境整備事業
1300万円

森林環境譲与税を財源とする事業で、間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備およびその促進を図ります。

また、林業の成長産業化と森

林資源の適正な管理の両立を目指します。

●県営農業農村整備事業
1億100万円

生産コストの低減や流通体制の整備、地域農業の活性化を目的に、県営事業により農業生産基盤整備を行います。

都市基盤・生活

34億7000万円

●安来港飯島線道路改良事業
2億6900万円

この路線は市内を東西に連絡する補助幹線道路です。沿道には小中学校があり、通学路として多数の児童・生徒が利用しています。交通量が多く非常に危険な状況であることから、児童・生徒の通学時の安全確保が急務となっているため改良を行います。

●中海ふれあい公園整備事業
9000万円

中海ふれあい公園の造成工事（子ども広場（半面）・展望広場・イベント広場・駐車場）およびグラウンド整備に必要な備品の購入等を行います。

●公営住宅整備事業
3400万円

長寿命化計画に基づき、老朽

化した公営住宅の建替事業を行います。今年度は、長谷津団地建替事業の調査・設計を行います。

自然・環境保全

5億9000万円

●ごみ収集事業
1億5300万円

一般廃棄物の円滑な収集運搬、地域の清掃活動の支援を図ります。不法投棄パトロールを実施し、不法投棄の未然防止につなげます。また、自治会が設置する集積場の整備費を補助します。

ごみ収集の効率化およびごみ減量化を図るため、分別の手引きを改訂し、全戸配布を行います。

参画・協働・行財政

24億円

●市史編さん事業
300万円

市史の編さんを行い、安来市の歴史等を正しくかつ高度にまとめ、総合的・学術的な基礎資料とします。また、ふるさとへの誇りと愛着がもてる市史とな

るよう努めます。

●台湾新北市新店区交流事業
180万円

平成19年より交流を続けてきた台湾新北市新店区（旧新店市）との交流を進めます。教育・文化分野など相互訪問等を通じて、国際交流協定締結に向けた具体的な協議を進めていきます。

●広域連携事業
1200万円

産業振興をはじめ環境保全・人材育成などスケールメリットを生かした圏域版総合戦略の推進等を行います。

ふるさと寄付は有効に活用しています

いただいた寄付金を平成30年度は以下の事業などに活用しました。

- ・福祉医療費
- ・教育支援センター運営事業費
- ・小学校給食管理費
- ・小学校整備費
- ・中学校整備費
- ・ふるさと教育推進事業費

